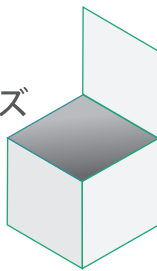


# 感想の小箱

## 映画館のスクリーンサイズの調整!?



さて今回は、映画館に作品を観に行っているとふと感じた事が有ります。作品の出来? 映画館のフード? 席とかではありません。いわゆる映画館のスクリーンです。

作品では、映画館でビスタサイズ(1.85:1)やシネスコサイズ(2.35:1)といった異なる画角の映画が上映される際に、スクリーンの幅やマスクを調整せずそのまま上映する劇場がシネコンなどを中心に増えてきました。

初期にはやっていたのに今はやっていない所中中にはあります。かつてフィルム上映時代には、作品ごとにスクリーンを囲む黒いマスクを動かし、余白部分を隠して最適な画角で上映するのが一般的でした。しかしデジタル化が進み、上映プログラムを一括管理するようになった現在では、人員削減や効率化のため、マスク調整の作業が省略されることが多くなっています。

そうなると何が起きるかという、ビスタサイズが最大幅の劇場は、シネスコ作品を上映すると上下に黒帯ができ、逆にシネスコ幅が最大の劇場でビスタ作品を上映すると左右に余白が生じる、という“スクリーンの活用が不十分”な状態が生まれています。なのでいわゆるテレビで映画を見る時に時折起きるような問題が映画館で頻繁に起きています。当県でも設備が古い劇場は割と調整がある劇場ですが、レアになっているのは寂しいわけで。ただ今はこれが当然の間隔になっていて、このコラムで指摘するまで気が付かない人もいるかとは思いますが、実は最大限ではなく縮小状態で映画館で見ている事実は頭の片隅に入れていても損はありません。

## T-LEVEL

### profile T-LEVEL

ずーっと岡山県在住。

映画、ラジオ、PC&スマホガジェット、旅行、スポーツ観戦、食などなど、その時自分のアンテナに引っかかったものを感想の小箱として発信!



## 月の出ぬ間に

(何度目かの) ChatGPTと大げんか

紫水DANNA勇太郎/居待月

ムカつく?いやChatGPT。散々「できません」と言い続けて、「できる」と言っただけで、言っていることに乗っかって対処すると結局できない。で、「できないじゃん」と言おうと、いろいろな言い訳をしまくった挙句、23個前に提示された解決策をもう一度言ってきたりする。

んだてめえ、無駄な金取ってるところによくいるアホなコンサルみたいじゃん!...な感じなんですよ。

というようなことが何度かありまして、なんでそんなことになるのかと調べてみたら、なんでも「ハルシネーション」という現象のようで、それもいろいろあるようですが、その中でも、「できない」とか返すより、なんらかの答えを返すことでユーザーの評価を上げようとする作用が大きく働いているんだ



とか:これじゃ、仕事できると勘違いしているカッコつけ社会人みたいじゃんw

ということでもうこんなアホに関わりたくないの、そういう見栄を張らないAIはないのかと探しましたところ、「Claude」というAIが比較的那い問題が少ないという情報を得まして、それに乗り換えてみて、今試用中という感じです(Google GEMINIはChatGPTと同じく見栄を張るらしい...自分ができる奴と思ってる奴は本当にメンドクさいですなあ...)

ただこの「Claude」が画像生成できないので、その部分はMicrosoftの「Copilot」を併用して対応します。

まあ今時AIを使わない手はないので、使う方がいろいろ考えてうまく使ったのが吉でしょうなあと思った出来事でした。

### profile 紫水 DANNA 勇太郎

あらゆるジャンルの表現者・アーティストと出逢えるサイト「Spinart-スピナート」運営。

ミュージシャンとしても音楽作品を各種サブスクメディアでリリース中。愛うさぎ「うみ」のYouTube 動画「うさぎのうみちゃんねる」のおじい。Web 戦略企画制作、Web・SNS 関連著書多数、スタッフ育成、Web 運用セミナー講師、等。

詳細プロフィールや連載記事はこちらからご覧ください。

<https://www.spinart.jp/contents/writer/utaro-shimizu.html>

ちなみにこの文章はちゃんと自分で書いてますよw(ちなみに画像は「ChatGPTをイメージする画像を作ってください」とChatGPTに作ってもらいました)